

星空の

2017

7
July



レシピ

VOL.

337



特集..

天文科学館の
オススメを紹介しまshow!

天文科学館のオススメを 紹介しま show!

Feature 特集

天文科学館の職員が館内外のオススメの
ポイントを紹介します!



1. オススメのポイント

2. オススメのコメント

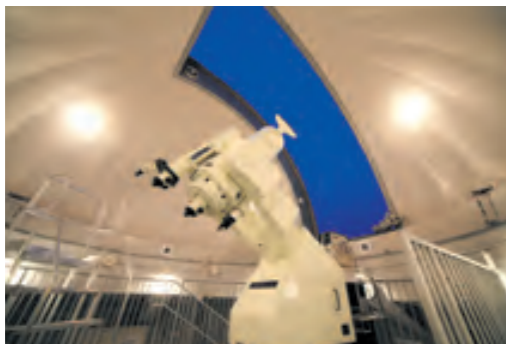
3. 評価★★★★★度

16F オススメのポイント 天体観測室

▶ Y.Suzuki



月のクレーターや、土星の環、木星の縞模様や衛星たち、彩り豊かな恒星、星団の星々、星雲の淡い光、230万年彼方のアンドロメダ銀河など、天体望遠鏡で宇宙を観測すると、肉眼で夜空を見上げた時とは違った星空の魅力をたくさん発見できます。天体観測室では、夜に開催する天体観望会の他、土日には、お昼に天体観測室一般公開もこなっています。晴れていれば、昼間の星を見られるかもしれません。満ち欠けをする金星など、青空に輝く星の光を発見するのもおすすめです。



ワクワク度 ★★★★★

14F オススメのポイント 展望室

▶ N.Yamamoto



初めまして。4月よりお世話になっております事務職員の山本です。これから宜しくお願いします。

私のオススメポイントは、ズバリ、14階の展望室です!らせん階段を上ること233段(!!!)、そこには世界一長い吊り橋である明石海峡大橋を望める360度の大大パノラマが広がっております。淡路島や播磨灘に浮かぶ島々、六甲山系の山々を見ていると心が洗われるような清々しい気持ちになれます。もちろん、エレベーターでも上がれますのでご安心ください。

絶景度 ★★★★★

4F オススメのポイント 日時計広場

▶ A.Nishiyama



4階の日時計広場には、様々な日時計が設置されています。その中で一番のオススメは、地球儀型日時計(ガイア日時計)です。時刻を知ることができるだけでなく、実際の地球と平行に設置されているので、現在、地球のどこに太陽の光が当たっているのかも知ることができます。宇宙から、太陽の光を受ける地球を眺めているような気持ちになる日時計です。日時計広場で、明石海峡の景色を楽しみながら、太陽の恵みを感じてみてはいかがでしょうか。



サンサン度 ★★★★★

2F オススメのポイント プラネタリウム投影機

▶ M.Hamaguchi



自然に近い星空を再現するために作られ、昭和35年に設置、57年間動き続けています。このプラネタリウムは、日周を1日動かすと、連動して月・太陽・水星・金星・火星・木星・土星が1日分動き、さらに連動して一周約2万6千年の歳差運動も1日分動きまわります。また、他館と比べて負けていないのが、満天の星空の美しさです。これは、星以外の光を少しも出さないようにして実現しています。また、本体の音の静けさも格別です。



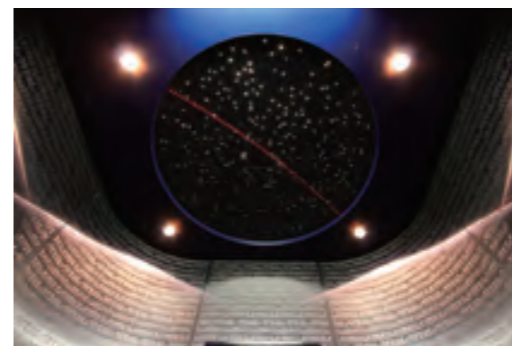
レア度 ★★★★★

1~14F オススメのポイント エレベーター内の装飾

▶ I.Oawa



私はエレベーターの中の雰囲気が気に入っています。初めて来館した時、中にデザインが施されていて驚きました。ヒエログリフのような全体の装飾や左右の星図が、これから星や宇宙について学ぶのだという雰囲気を盛り上げてくれます。プラネタリウムを聞くにつれ、わかる星座も増えてきました。頭上の星空と子午線の赤いラインも、日本標準時子午線の通る天文科学館らしくておすすめポイントです。展望室に昇る際など、わずかな時間ですがリラックスしていただければと思います。



落ち着き度 ★★★★★

1F オススメのポイント ミュージアムショップ

▶ S.Fujiwara



オリジナルグッズ売上数ランキング1位、昨年にはプラ黄金のしおり、一昨年は135°まではかれる分度器、過去3年ではプラ「レア」33箇所ガイドブックとなっています。みなさんが購入されたものは入っていましたか?またオリジナル以外で定価より安く販売することがあります。2月や5月など来館された際は是非チェックしてみてください。ところでJSTMポストカードとJSTM証明書はよく似ていますが1箇所違います。探してみてください。



マニアック度 ★★★★★



3F 展示室のオススメ

4月より館長に就任しました。井上です。よろしくお願致します。



3F オススメのポイント
特別展示室

▶ T. Inoue



天文科学館では折々に特別展を開催しています。その会場となる特別展示室には、美しい天体写真、隕石や古いプラネタリウムなどの資料、カレンダー、児童の作品、楽しい体験展示などいろんな展示物が並びます。時には、ここでしか見られない貴重な資料が展示されることも。変化する展示室をお楽しみください。

変幻度 ★★★★★

3F オススメのポイント
伊藤太一 子午線の旅

▶ M. Yamauchi



私のオススメは、2011年に開催した特別展「伊藤太一 子午線の風景を訪ねて」で展示していた作品です。南北に通っている東経135度子午線を子午線標識や観光名所で巡りながら、まるで絵巻物の中を旅しているような楽しい気持ちになります。



作品は長さ9m×幅50cmの超大作で、残念ながらスペースの都合上、現在はすべてを展示することはできませんが、データ化した作品と天文科学館を中心とした一部の実際の作品をご覧いただくことができます。伊藤太一先生の優しいタッチで描かれたシゴセンジャー&ブラック星博士も必見です!!

ほのほの度 ★★★★★



1. オススメのポイント

2. オススメのコメント

3. 評価 ★★★★★ 度

3F オススメのポイント
太陽系儀

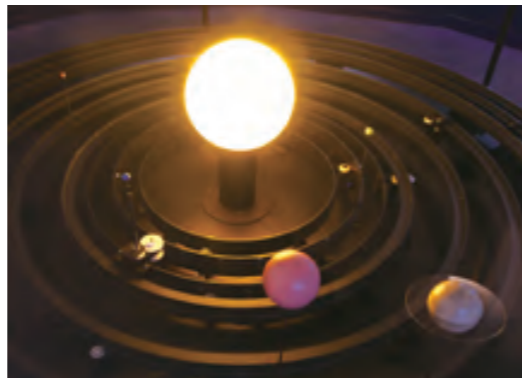
▶ K. Tsuboi



自分の手でぐるぐる回していくと、惑星の公転の速さの違いを実感できます。

いくら回してもなかなか動かない海王星を何人がどれだけ回したのだろうかと思いを馳せるのもオススメです。

この「太陽系儀」で私の1番好きなところは、地球の周りを一生懸命回っている月です。とても健気です。地球が太陽の周りを1周する間に月はこんなに地球の周りを回っているんだなあとしみじみ...



癒し度 ★★★★★

3F オススメのポイント
太陽望遠鏡

▶ K. Ishida



私のオススメは太陽望遠鏡。とはいっても16階観測室の天体望遠鏡のように直接見学することは出来ません。でも安心してください！3階展示室の「太陽観測室」では太陽望遠鏡がとらえたリアルタイムの太陽の姿をスクリーン上に観測することができます。太陽はとてもまぶしいので直接見ることはとてもキケンです。ぜひ太陽望遠鏡のある天文科学館で普段は見ることが出来ない黒点や太陽フレアといった太陽の活動する姿を目撃してください。

ドキドキ度 ★★★★★

3F オススメのポイント
惑星の表面

▶ K. Uehara



地球以外の星の様子ってどうなってるんだろう？...知りたいですよね。でも実際に行くのは難しい...。そんな願いを叶えてくれる“体感型”展示物です。

まずは目をつぶり、次に手のひら全体で感じ、そして想像してください。「月にはクレーターがたくさんある！」「火星ってこんな地形なんだ！！」「星それぞれに表面に違いがあることがわかった！！！」きっと目の前には、まだ見ぬ星の風景が浮かびあがりますよ！



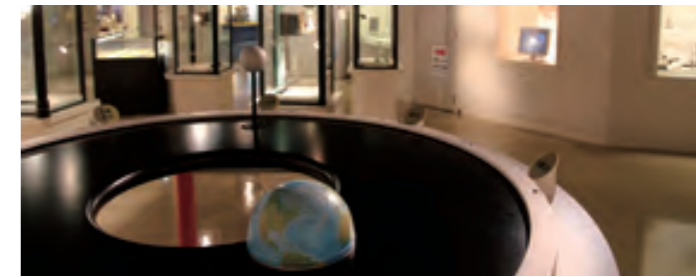
体感度 ★★★★★

3F オススメのポイント
月の満ち欠け

▶ Y. Ishii



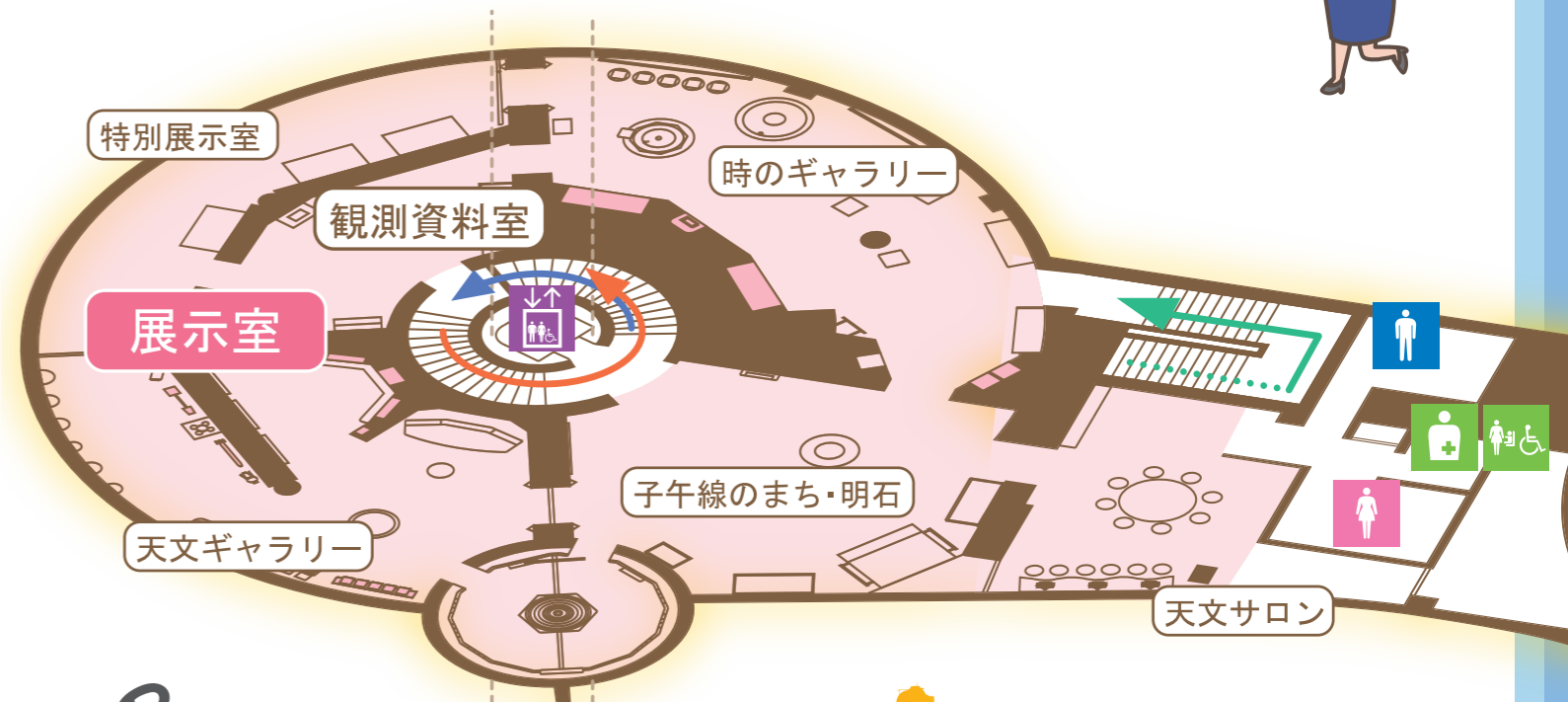
三日月や半月、満月など、月の形は毎日変わります。しかし、月は1つしかありません。どうしていろんな形の月が見えるのでしょうか。地球になった気分で、展示物の中に入っててください。太陽に照らされる月を回してみると、月の形が変わる理由がわかりますよ。1周するとおよそ1ヵ月。新月の日を1日とすると、3日目の月が三日月です。自分(地球)の影で満月を隠す月食をするのもオススメです。皆さんの好きな月の形を探してみてください。



なりきり度 ★★★★★

天文科学館のオススメの巡り方

- A コース 先に展示見学(14F → 3F)・後にプラネタリウム
- B コース 先に展示見学(3F → 14F)・後にプラネタリウム
- C コース 先にプラネタリウム・後に展示見学(14F → 3F)
- D コース 先にプラネタリウム・後に展示見学(3F → 14F)



3F

館外のオススメ

1. オススメのポイント 2. オススメのコメント 3. 評価★★★★★

1F 屋外
オススメのポイント
トケインウ



▶ S.Kishimoto



天文科学館の正門を
入ってすぐ南側にかわい
いお花が咲くのをご存知
ですか。名前を「トケイン
ウ」と言い、花の形が時計
の「文字盤」、3つに分かれ
た雌しべが「長針」「短針」
「秒針」に見えることが由
来で、時と宇宙の博物館で
ある天文科学館とゆかり
の深いお花です。開花時期
は6月～8月頃。晴れた日
には青空をバックに天文
科学館の建物とトケイン
ウと一緒に写真におさめ
ることもできますよ。

写真映え度 ★★★★★

1F 屋外
オススメのポイント
漏刻



▶ S.Kaneyoshi

「漏刻」は、漢の時代に中国
で作られた水時計です。それ
が日本へと伝わり、西暦671
年、天智天皇が漏刻を設置し、
日本で初めて時を知らせまし
た。

漏刻は、水槽を4つ重ね、サイ
フォン管でつなぎ、上から
下へと水が流れるようになって
います。層を何段も重ねる
ことで、最下槽へと流れる水
の量を一定に保てるようにな
ります。

日本標準時子午線上に設置
された漏刻で、日本初の時報が
おこなわれた飛鳥時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



東経135度 ★★★★★

外観 天文科学館の外観を味わう眺望スポット



桜の花と



撮影の時は安全に気をつけてください

天文科学館の裏にある トンボの子午線標識



大きな塔時計を掲げる天文科学館の高塔は、子午線
の位置を示す子午線標識としての役割をもちます。こ
の塔時計を見上げる風景も、見上げる位置や角度に
よって様々な表情を見せて
くれます。天文科学館の正
門に入って北側にある公園
には、季節ごとに桜やツツ
ジなどの花が咲きます。
花々とともに天文科学館を
お楽しみください。

子午線標識は他にもあり
ます。天文科学館北側にあ
るトンボの標識とともに背
面から見る天文科学館もお
勧めです。また、人丸前駅
ホーム上にある子午線ライ
ンから天文科学館へとつな
がる子午線は、絶好の撮影
スポットです。

人丸前駅
ホームから

シゴセンジャーのてんもん教えてキッズコーナー

シゴセンジャーがオススメする展示は、4階日時計広場にある、惑星の大きさをくらべだ。太陽のまわりをまわる8個の惑星と、その外側をまわる冥王星の大きさを比べることができるぞ！それぞれどのくらい大きさが違うか、くらべてみよう！



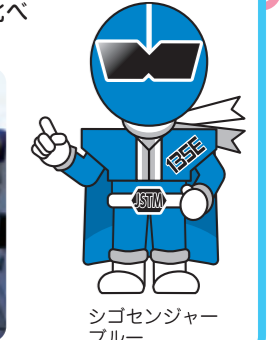
シゴセンジャー
レッド



オススメのポイント1

太陽系の惑星や冥王星が、実際の2000万分の1の大きさ
であらわされているんだ。地球は直径65cmの青い球体
だ。各天体が、地球と比べて大きい小さいかが、ひと目
でわかるぞ。ただし、地球と比べて、とても大きい海王
星、天王星、土星、木星は、床に円で描かれているので、
注意して、足元も見てみよう！

ここでは、惑星と冥王星だけではなく、太陽の大きさも比べ
ることができるぞ。太陽は、日時計広場いっばいに描かれてい
る直径69.6mの大きな黄色い円だ。地球と比べ
ても、その大きさがわかるよね。



シゴセンジャー
ブルー

シゴセンジャーの オススメの展示を 紹介するぞ！

オススメのポイント2

惑星の大きさだけではなく、日時計広場から見える風景とともに、太陽系の広がり
も感じることができるぞ。2000万分の1の太陽が、この場所にあるとすれば、直径
65cmの地球は、ちょうど淡路サービスエリアにある観覧車のあたりをまわっている
ことになるんだ。その距離は、およそ7.5kmもはなれているぞ。

ちなみに、淡路島の観覧車の大きさは、日時計広場に描かれてい
る太陽の大きさ(約70m)とほぼ同じなんだ。
つまり、日時計広場(65cmの地球)から観覧車
を見たときの大きさは、実際に地球から見る
太陽の大きさとほぼ同じだぞ。



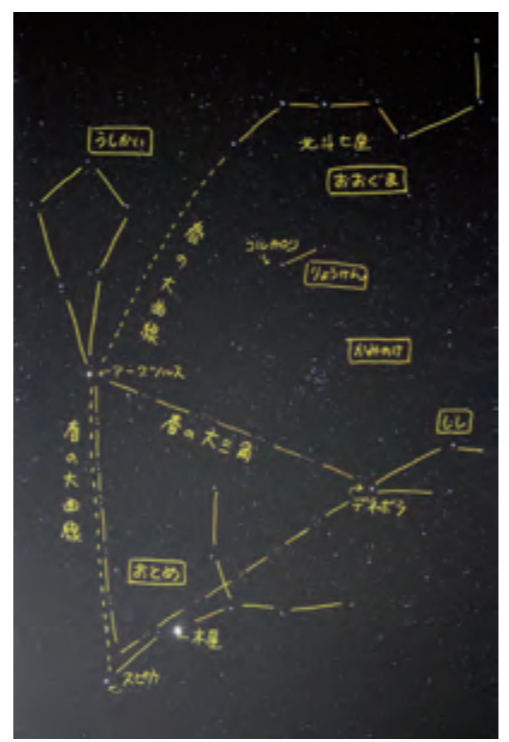
ブラック星博士

太陽系のことを、
もっと知り"たいよう"!



ちょっとオススメ

1階にあるシゴセンジャーと
ブラック星博士の顔出し看板も
オススメだぞ!



春の星空を 見くらべてみよう!

この写真は2017年4月22日に兵庫県北部の山中で撮影されたものです。都会では見えない暗い星も写っています。北斗七星、春の大曲線、春の大三角のような形をたどると星座をみつけやすくなります。写真に説明を入れましたのでご覧ください。見比べると、実際の空で探すより練習になります。スピカの近くに木星が明るく輝いています。惑星の位置は少しずつ変わっていきます。今夜晴れていたら、見上げて、木星の位置の違いにも注目してみましょう。

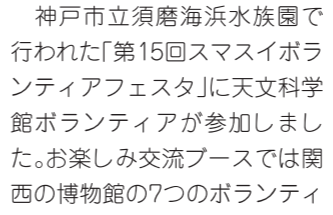
写真 堀井 武史

字幕投影 3月11日(土)



字幕付きで星空を楽しんでいただくプラネタリウム投影をおこないました。プラネタリウム解説のあいさつ部分には、要約筆記・手話通訳がつき、この日の星空とともに3月のテーマ「オーロラの神秘」をお楽しみいただきました。投影後には、要約筆記・手話通訳つきで展示室をご案内しました。

スマスイボランティアフェスタに参加しました! 3月12日(日)



神戸市立須磨海浜水族園で行われた「第15回スマスイボランティアフェスタ」に天文科学館ボランティアが参加しました。お楽しみ交流ブースでは関西の博物館の7つのボランティア団体が工作など様々なブースを出し、当館は「光る星座カード作り」を行いました。星座を形作る星を蓄光ペンで描き、色鉛筆でかわいく星座絵を彩り、子どもたちから大人の方まで、たくさんのお客様に楽しんで頂きました。

特別展プレミアム講演会「日本のプラネタリウムの黎明」 3月18日(土)

当館の館長(当時)長尾高明と工藤章氏(東京大学名誉教授)、鈴木孝男氏(コニカミノルタプラネタリウム(株))、児玉光義氏(元(株)五藤光学研究所)を迎え、特別展「日本



講演をする工藤 章氏

のプラネタリウム『はじめの1歩』展～プラネタリウムメーカー、それぞれの黎明期～』の開催を記念し講演会を実施しました。他では聞くことのできない、国産プラネタリウムの歴史についての貴重なお話と資料で、参加したみなさんは熱心に耳を傾けていました。大変内容の濃い講演会となりました。

星空演劇「ヘルクレスの冒険」 3月18日(土)～20日(月・祝)



シゴセンジャー春場所の3日間限定で、春の夜空に見られるしし座・かに座・うみへび座の物語を演劇で紹介する「星空演劇」を実施しました。天文科学館の職員と明石を中心に活躍する町劇Akashi bbが協力して出演・演出を行いました。迫力のある衣装や演技、笑いあり、涙あり、ダンスありとびきり楽しい演劇となりました。

星友フェスタ～星の友の会からのイベント～ 3月18日(土)～20日(月・祝)



星の友の会では4つのサークルが活動しています。サークル活動を体験してもらうイベントを開催しました。「うちゅうかがくサークル」では工作ワークショップや衛星画像受信実験・日時計の展示、「ほしとも天体写真部」ではデジタルカメラを使った天体写真入門教室、「遠足部」では「時の道」を歩き、「子午線文化研究会」では最北端から最南端をめざす明石ブラシゴセンを行いました。熱心なサークル会員とともに楽しんでいただきました。

学校・園と力を合わせてこんなことしています!

天文科学館では、子どもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。

平成29年度 科学技術週間イベント『天文科学館 一日館長』

4月17日(月)～23日(日)は『科学技術週間』、科学技術に関する普及啓発活動として、全国各地の科学館で様々なイベントが行われました。

天文科学館では『科学館』により親しんでもらうために『天文科学館 一日館長』を4月22日(土)に行いました。明石市内小学校6年生を対象に募集を行い、応募者の中から人丸小学校の苗村英明さん、藤江小学校の植田愛姫さんに一日館長を務めてもらいました。来館したお客様にポスターを渡したり、キッズルームで紙芝居や星座クイズを披露したりしました。



『一日館長』として天文科学館のアピールポイントをたずねると、苗村さんは「昼間でも星がいっぱい見られるプラネタリウムがあり、ボランティアさんがくわしく教えてくれる」、植田さんは「16階の天体観測室に大きな望遠鏡がある」と紹介してくれました。

一日館長に応募して下さった明石市内小学校6年生の皆さん、協力して下さった学校の先生方、ありがとうございました。これからも、学校園が天文科学館を身近に感じてもらえるような取り組みをしていきたいと思います。

〈広告〉
「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

広い視野で使いやすい
6倍、8倍の入門機

シリーズ **YFseries**

防水

YF30-6 (6×30)
希望小売価格(税別) ¥ 11,000

YF30-8 (8×30)
希望小売価格(税別) ¥ 12,000

星が見えにくい都市近郊でも
双眼鏡を使うことで
肉眼では見えなかった
多くの星たちが見えてきます

優れた光学性能を
高いコストパフォーマンスで実現

シリーズ **SVseries**

防水

SV32-8
希望小売価格(税別) ¥ 22,000

**感動・視体験
コーワ双眼鏡**

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する双眼鏡のトップブランド企業です

Kowa Binoculars

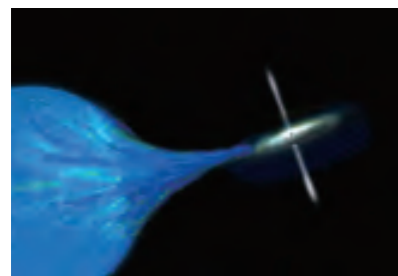
興和光学株式会社 大阪営業
〒541-8511 大阪府大阪市中央区淡路町2丁目3番5号 TEL:06-6204-6912
<http://www.kowa-prominar.ne.jp>

プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。

★ブラックホールのつくりかた

7月1日(土)～7月30日(日)



ブラックホールは、非常に重力が強いため、光さえも出てくることができません。このため、「黒い穴」のように見えるだろうということで、ブラックホールという名前がつけられました。ブラックホールを探す研究の最前線を紹介しします。

★遥かなる土星へ～カッシーニの旅～

8月1日(火)～31日(木)

1997年に打ち上げられたNASAの土星探査機「カッシーニ」が、9月に運用を終了します。カッシーニは、土星の衛星タイタンに川や湖があることを発見するなど、10年以上にわたり、土星の表面やリング、衛星の詳細な姿を観測しました。カッシーニの活躍をご紹介します。



©NASA

特別展

★時計のある風景写真展

6月9日(金)～7月9日(日)

時の記念日にちなんで「時計のある風景写真コンテスト」が今年も開催されました。時の流れと人々の暮らし、自然との営みを感じさせる入選作品を展示します。



特選「熱中症対策」秋田寿美さん

★ノーベル賞を受賞した日本の科学者

7月15日(土)～9月3日(日)



1953年の湯川秀樹博士のノーベル物理学賞受賞以来、科学分野では日本人21名の研究者がノーベル賞を受賞しています。本展では、研究業績だけでなく幼少期のエピソード等を交え、ノーベル賞受賞者をより身近に知っていただける内容となっています。

共催：独立行政法人国立科学博物館
協力：全国科学博物館協議会、(一財)全国科学博物館振興財団

こども天文教室

第3または第4土曜日の9:50～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。天文について深く楽しく勉強しましょう。



7月22日(土) 夏休みの天体観測

★キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。

★たなばたアワー

6月1日(木)～7月7日(金)

平日 9時50分～/11時10分～
土日 11時10分～

たなばたの物語や、夏の星座、宇宙のお話をわかりやすくお話しします。



●6月10日(土)
「時の記念日」のため、たなばたアワーはありません。

★どせいの“わ”のひみつ

7月8日(土)・9日(日)・21日(金)～7月30日(日)

11時10分～

土星の“わ”は、どうなっているのかな？
近づいて見てみましょう。



●7月15日(土)～17日(月・祝)
「軌道星隊シゴセンジャー」のキッズプラネタリウムになります。

★ほしぞらかんさつをしよう

8月1日(火)～8月31日(木)

11時10分～

夏の星空や流れ星の観察のしかたをお話しします。



★星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と満天の星をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。

6月17日(土)
14時30分～15時20分
[当日整理券制]
出演：熊谷 朋久 (ギター)



休館日のお知らせ

6	7	8
日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
1 2 3	1	1 2 3 4 5
4 5 6 7 8 9 10	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12
11 12 13 14 15 16 17	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19
18 19 20 21 22 23 24	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26
25 26 27 28 29 30	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30 31

赤文字：開館
青文字：休館

天体観望会の申し込みについて

◆参加費 1人 300円 ◆電話番号 (078) 919-5000
◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日17時までに電話又はHPからお申し込み下さい。(先着順) ◆定員 100名

代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

6月	7月	8月
6月1日(木)～6月30日(金) 「地球をはかる」	7月1日(土)～7月30日(日) 「ブラックホールのつくりかた」	8月1日(火)～8月31日(木) 「遥かなる土星へ～カッシーニの旅～」
6月1日(木)～7月7日(金) 「たなばたアワー」	7月8日(土)～7月30日(日) 「どせいの“わ”のひみつ」	8月1日(火)～8月31日(木) 「ほしぞらかんさつをしよう」
6月9日(金)～7月9日(日) 「時計のある風景写真展」	7月15日(土)～9月3日(日) 「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」	
6月10日(土) [当日整理券制] 「時の記念日」(無料開放)	7月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝) [当日整理券制] 「シゴセンジャー夏場所」	
6月18日(日) [当日整理券制] 「親子連れ無料開放」 (高校生以下の子ども同伴)	7月1日(土) [前売券制] 19:00開演 (20:30終了予定) 「七夕コンサート」	8月19日(土) [予約制] 19:00～(受付18:30～)
6月17日(土) 14:30～15:20 [当日整理券制]	8月中の観望会のメニューは、全て共通です。 土星、ベガ(織姫星)、アルタイル(彦星)、 アルビレオ(はくちょう座の二重星)	8月5日(土) [予約制] 19:00～(受付18:30～)
6月24日(土) 9:50～10:40 [事前申込なし]「夏の星座と星の動き」	7月8日(土) [予約制] 19:00～(受付18:30～) 木星、土星	8月26日(土) [予約制] 19:00～(受付18:30～)
7月22日(土) 9:50～10:40 [事前申込なし]「夏休みの天体観測」		

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 こども天文教室 星と音楽のプラネタリウム 季節イベント 観望会 プラネタリウムコンサート

★プラネタリウムコンサート

★七夕コンサート

〈日 時〉 7月1日(土) [開演]18時30分 [開演]19時

〈出演者〉 田ノ岡 三郎 (アコーディオン奏者)

東京を拠点に全国で活動を続ける「旅するアコーディオニスト」。東京音大卒。パリにてダニエル・コラン氏に師事。

coba氏によるアコーディオンの祭典「Bellows Lovers Night」への出演などからキャリアを開始し、現在は幅広いジャンルのステージ&レコーディングで日々熱演中。

歌うように奏であげる音色には定評があり、「ひよっこ」「逃げるは恥だが役に立つ」などTVドラマ、CMや大作ゲームの音楽への演奏参加も多数。稀に「ムジカ・ピッコリーノ」「ヒットメーカー阿久悠物語」などキャストとしての出演も。

アコーディオン独奏を軸にした最新作「snowdrop」など、自身のオリジナル曲を中心にこれまでに5作のソロアルバムを発表。

favorite：華やかなステージ、鉄道の旅。アコーディオン奏者となる前の活動としてはNHK教育番組テーマソングや「みんなのうた」への楽曲提供などがあり、国外でのステージ歴はフランス、ポルトガル、台湾、アルゼンチンなど。

オフィシャル・アーティストページ <http://tanooka.net>



〈場 所〉 明石市立天文科学館 2階プラネタリウムドーム

〈チケット販売場所〉

前売り券制 800円 (駐車料金：別途200円)

明石市立天文科学館・セブンイレブン明石市役所店
明石観光案内所(明石駅構内)・巖松堂書店(JR大久保駅前)

〈演奏曲〉 ムーンリバー・リベルタンゴ・星空とお散歩 他
※曲目については変更となる場合があります。

★その他のイベント

★シゴセンジャー夏場所

7月15日(土)・16日(日)・17日(月・祝) [当日整理券制]

●キッズプラネタリウム 11時10分～
シゴセンジャーとブラック星博士が登場!

●てんもんクイズラリー
「シゴセンジャー&
ブラック星博士のクイズに挑戦」



Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻(1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体予約がある時のみ)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日 及び学校長期休業中	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50

★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始
ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。
※高齢者割引、障害者割引を行っています。
※明石市が発行する「シニアいきいきパスポート」提示で観覧料350円(65歳以上)が無料になります。
※コンサートやイベント等には別途料金が必要な場合があります。

★駐車場

普通自動車・マイクロバス(約90台):2時間まで200円(以降1時間ごとに100円) / 大型バス(8台):1回1,500円

★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も20,000日を超え日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車人丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線人丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

明石市立天文科学館

<http://www.am12.jp/> ツイッター @jstm135e

〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000
e-mail: otoiawase-tenmon@city.akashi.lg.jp

時間、それは宇宙からの贈りもの

上空2万kmの彼方のGPS衛星で刻まれる10万年に1秒の高精度。
宇宙とつながり、時を知る。衛星電波クロック「セイコー スペースリンク」シリーズ。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコークロック株式会社 お客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:30 土・日・祝祭日を除く) <http://www.seiko-clock.co.jp/>

